

## 第70回がん対策推進協議会での主な御意見

## 【中間評価について】①

- ・ 中間評価に用いる調査について
- （ア）患者体験調査

設問	ご意見・ご質問	研究班からの回答
6b3	「免疫療法」に関する言葉が一般の方にわかりにくいのではないかと。	「保険診療範囲内のものを想定」と説明を追加しています。
15	病気の理解に関して、病気に関する「十分な説明を受けた」「十分な情報を受けた」の2つの選択肢にするのはどうか。	「十分な説明を受けた」→医療者への評価 「十分な情報を受けた」→患者の体験 後者に焦点を当てた選択肢としています。
15-2	「がんの診断から治療開始までの状況を」では初回治療のみを想定。「自分の治療について」にするのはどうか。	全般的な質問は、問 20-10 にあり、本質問は治療選択に納得しているという別の指標としての設問です。
18	bとcを一緒にするのはどうか。	最終的に b+c とできることから、区別しています。
19	治療の変更断念については、何を諦めたか記載できるようにするのはどうか。	前回の調査においても、頻度が少なく、記載内容の集約が難しいため、記載は設けておりません。
32	どのようにして、がん相談支援センターを利用できたかきくのはどうか。	がん相談支援センターの利用率が低いため、利用をしない人になぜ利用しなかったかをきくこととしています。
34	臨床試験の説明を追加するのはどうか。	臨床試験の説明を追加しています。
36	「身体の苦痛」と選択肢2の「痛みがある」の違いがわかりづらいのではないかと。	身体の苦痛の説明を追加しています。
	進行期の患者の意見をとらえるためにどのようにするのか。	進行期の患者にて、別途解析を検討中です。
	個人情報について詳細にきくアンケートが、突然くるのは、患者側からの抵抗感を伴う。倫理的配慮について、どのような改善を行うのはどうか。	国立がんセンターによる調査前のプレスリリース及びがん患者団体への周知、調査実施病院での院内ポスターや HP での周知などを図ります。最終的な調査への参加は、各病院の倫理委員会の判断になります。
	患者が希望する社会啓発に対して、具体化するのとはどうか。	新たな社会啓発に関するアイデアは、自由記載欄に記載頂く。実態の評価は世論調査等が適切ではないかと考えます。

	返答される方にバイアスがかかっていないかどうか。	質問内容がバイアスを生まないように、プレアンケートで改訂を繰り返しています。その他、院内がん登録からの選定者と実際の回答者のプロフィールに差がないか確認します。
--	--------------------------	--

(イ) 緩和ケアに関する医療従事者調査・施設調査

設問	ご意見・ご質問	研究班からの回答
	調査は都道府県別にフィードバックされるのかどうか。	都道府県毎にフィードバックする方向です。ただし回収状況により難しいこともあります。
	緩和ケア研修会の受講の有無と調査に関係項目に関連があるのならば、今後の研修会の取り組みの改善につなげていくのはどうか。	今後検討していきます。